



てんねん 天然ガスってどういうものなの

ちちゅう てんねん 地中からとれる天然ガス

ちちゅう ゆでん せきたんそう しぜん はっせい てんねん
地中の油田や石炭層などで、自然に発生したガスのことを天然ガスといいます。
ゆでん げんゆ いちぶ きか せきたんそう せきたん
油田でとれるものは、原油の一部が気化したもの。また、石炭層でとれるものは、石炭
きはつぶん
の揮発分がガスになったものです。

てんねん にほん おも にいがた あきた すいようせい
天然ガスは、日本では主に新潟や秋田などでもとれますが、これは、水溶性ガスといわ
れるもので、古代の生物が分解してできたガスが、地下水にとけこんだものです。
こだい せいぶつ ぶんかい ちかすい

てんねん ねんりょう こうぎょうようげんりょう 天然ガスは燃料や工業用原料に

てんねん しゆせいぶん おんど さ あつりよく くわ
天然ガスの主成分はメタンガスです。これは温度を下げたり、圧力を加えることによっ
て、簡単に液体にすることができます。これを、液化天然ガスとよんでいます。
かんたん えきたい えきかてんねん

てんねん えきか ようせき ぶん はこ
天然ガスを液化すると、容積は600分の1になり、とても運びやすくなります。また
も えきか おせんぶっしつ すく ねんりょう とし しょう
燃えやすく、燃えたあと汚染物質が少ないきれいな燃料として、都市ガスなどに使用され
ています。アセチレンやアンモニア、メチルアルコールなどの工業用原料としても用いら
れています。
こうぎょうようげんりょう も

また、石油化学工業から出るいろいろなガスを液化したものは、液化石油ガスとよばれ
ています。
せきゆかがくこうぎょう で えきか えきかせきゆ

かてい つか えきか
家庭でよく使われているプロパンガスは、プロパンガスを液化してボンベにつめたもの
です。(監修 小川 格)

